The background is a collage of three photographs of school buildings. The top-left photo shows a yellow building with a gabled roof. The top-right photo shows a modern, multi-story building with large windows. The bottom-left photo shows a building with a blue textured wall. The bottom-right photo shows a building with a green roof and a covered walkway.

長期学校改築計画

に関する懇話会

市民交流センター ステラホール

平成30年9月30日（日）14：00～

長期学校改築計画に関する懇話会 次第

1. 開会
2. あいさつ
3. 6会場での懇談会の開催報告
4. 学校改築・再編基本方針（案）について
5. 今後の進め方について
6. 意見交換
7. 閉会



6会場での懇談会の開催報告

心算
1. 準備
2. 動かし方
3. 傾斜の調整
4. 傾斜の調整
5. 傾斜の調整



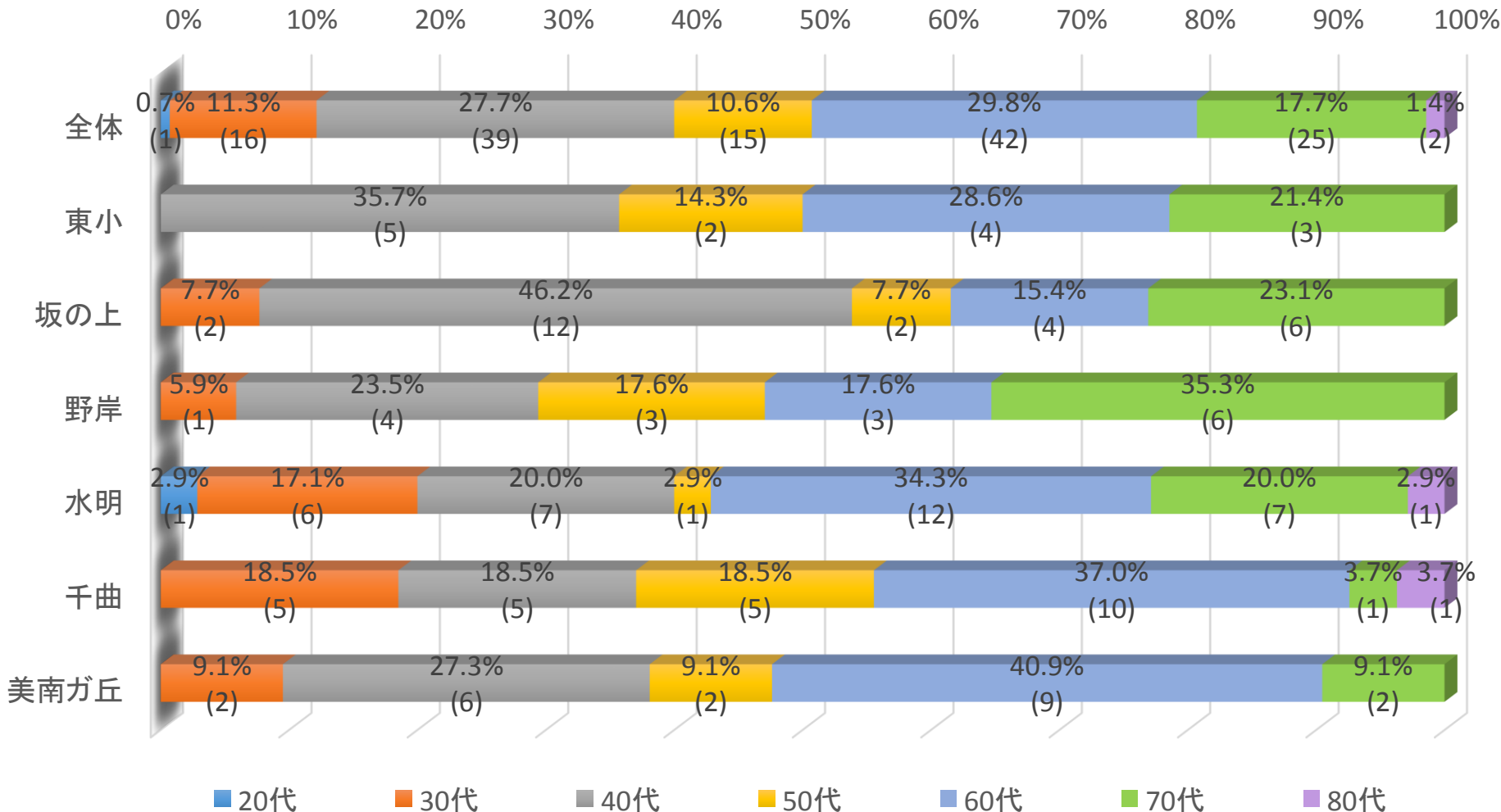
懇談会の実施状況

日付	会場	参加人数
5月31日（木）	美南ガ丘小	32名
6月 6日（水）	東小	23名
6月27日（水）	水明小	42名
6月29日（金）	野岸小	27名
7月 3日（火）	坂の上小	32名
7月 5日（木）	千曲小	33名

開催時間は全会場19:00~20:30 参加延べ人数189名



参加者の年代内訳





意見交換・アンケートでいただいた主な意見・質問

① 全般的な進め方について

- 早急に進めてほしい。(多数)
- 市民・地域の意見を積み上げつつ、スムーズに進むようにお願いしたい。
- 大きな構想やスケジュールを明確に示して進めるべきである。
- もっと先までの児童生徒数の将来推計が必要である。
- 説明機会の設定や事前周知について工夫してほしい。
- 説明会に参加できない人の声も聞いてほしい。



意見交換・アンケートでいただいた主な意見・質問

②学校再編について

- 進めなくてはならない(避けては通れない)。
- (教育委員会等から)具体案を出してほしい。
- 他の自治体における適正規模の再編を図った実践例を参考にしてはどうか。
- 通学距離が遠くなることに配慮してほしい(通学方法への配慮を)。
- 小さい学校には小さい学校の良さがある。
- 多様化への対応には分散化も必要ではないか。
- 同一区内複数学区の問題だけ先行してでも、早急に解消してほしい。



意見交換・アンケートでいただいた主な意見・質問

【意見交換での事務局からの回答・説明等】

- ①全般的な進め方について
- ②学校再編について

今回の懇談会終了後、9月下旬に市民全体を対象とした会議を開催し、基本方針をまとめ、その後、各分野の専門家による学校再編検討委員会を年度内に条例により制定し組織化をしていきたいと考えています。その先の検討期間は未定ですが、丁寧に進めつつ、一定のスピード感も持って進めたいと考えています。

並行して、今年度中に、学校施設の更新に要する費用や、児童生徒数の長期的な将来推計値といった基本的なデータを示してまいります。



意見交換・アンケートでいただいた主な意見・質問

③小中一貫教育について

- どのように検討を進めていくのか。
- 賛成である。
- 小諸では規模が大きすぎて現実的でない。
- 中学校を3つ以上に分けて小中一貫はどうか。
- 魅力もあるが、疑問もある。



意見交換・アンケートでいただいた主な意見・質問

【意見交換での事務局からの回答・説明等】

③小中一貫教育について

引き続き、次の検討段階においても、適正な規模等、小諸の実状に合った制度の研究を進め、小諸市における導入の可能性について検討します。



意見交換・アンケートでいただいた主な意見・質問

④現校舎の改築・長寿命化について

- 再編校以外の改修改築もきちんと進めてほしい。
- 今現在、校舎で学んでいる子どもや先生のための環境整備もしっかりお願いしたい。
- 校舎を長く使うことに賛成。ただし慎重に。
- 老朽化している校舎の建て替え計画はどう進めるのか。



意見交換・アンケートでいただいた主な意見・質問

【意見交換での事務局からの回答・説明等】

④現校舎の改築・長寿命化について

今年度、専門家による建物の劣化度調査などを行い、「いわゆる耐用年数」や「改修費用」、「改修と改築どちらが適正か」などを検討し、「学校再編計画」と「学校施設長寿命化計画」の策定を並行して進めてまいります。



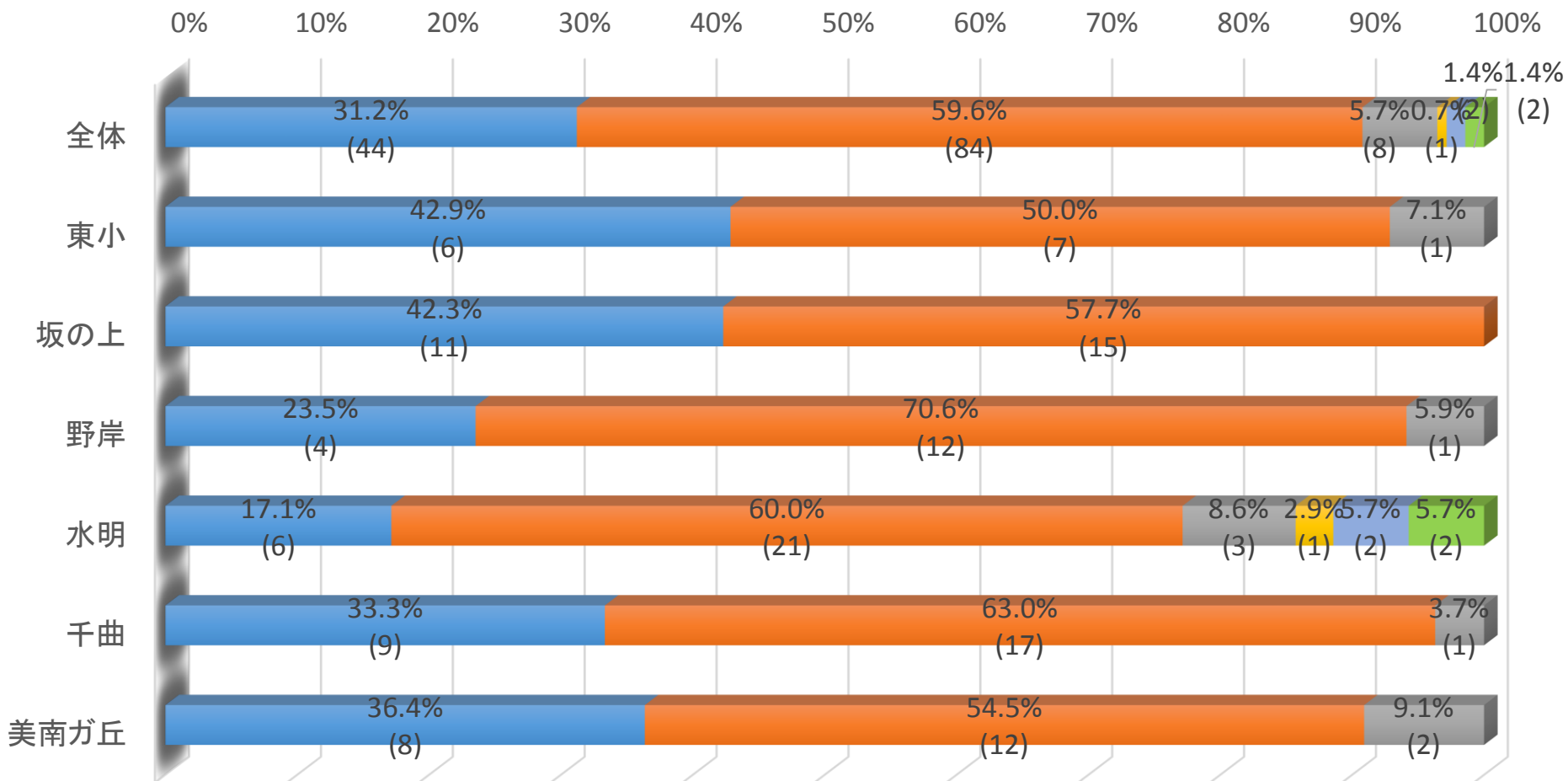
⑤ 懇談会全般について

- 勉強になった。
- 提言書が良くまとめられており、理解しやすかった。
- 参加者が少ない(特に保護者)。
- 未就学児の保護者の方々の意見をさらに聞きたい。
- 大変重要なことなので、事前周知がもっと必要だったのではないか。
- 危機感を感じた。

3. 6会場での懇談会の開催報告



提言書の内容について (アンケート結果)



■よく理解できた ■まあ理解できた ■あまり理解できなかった ■理解できなかった ■どちらともいえない ■無回答



学校改築・再編基本方針（案） について



懇談会での「提言書の報告」と 「今後の進め方の説明」を受けて…

- 提言書の内容について「よく理解できた」「まあ理解できた」の回答が合わせて9割を超える。
- 意見交換・アンケートとともに、「早急に進めてほしい」との意見が圧倒的多数であった。



「検討会からの提言書」の内容を『基本方針』と位置づけ、次の検討段階へ移行したい。



【基本方針1】基本的な進め方

◆ 未来に生きる小諸市の子どもたちのために、学校教育の変化や多様な子どもの教育的ニーズに対応できる学習環境を整えることを最大の目的として、学校施設の改築・再編を進める。

この目的を踏まえ、今後の検討において、地域防災や地域・卒業生の思い等を考慮しながらも、「小諸市で育つ子どもたちにとって『より望ましい学校の姿』はどうあるべきか」という視点を最優先として議論を進める。



【基本方針2】 望ましい小学校の規模

◆ 望ましい小学校の規模は、「1学級の児童数が20～30人前後」で「1学年の学級数が少なくとも2～3学級」とする。

この「小学校規模」と今後の児童数の推計値を踏まえると、小諸市の子どもたちにとって「望ましい学校の姿」の実現のために、市内小学校の再編が必要な状況である。



【基本方針3】小中学校の配置及び校区

- ◆ 区の中で学校が複数校に分かれることのないよう、学校再編とあわせて通学区の見直しも検討する。
- ◆ 小中一貫教育制度のあり方について検討する。
- ◆ 学校再編にあたっては通学路の安全確保や遠距離通学に配慮する。

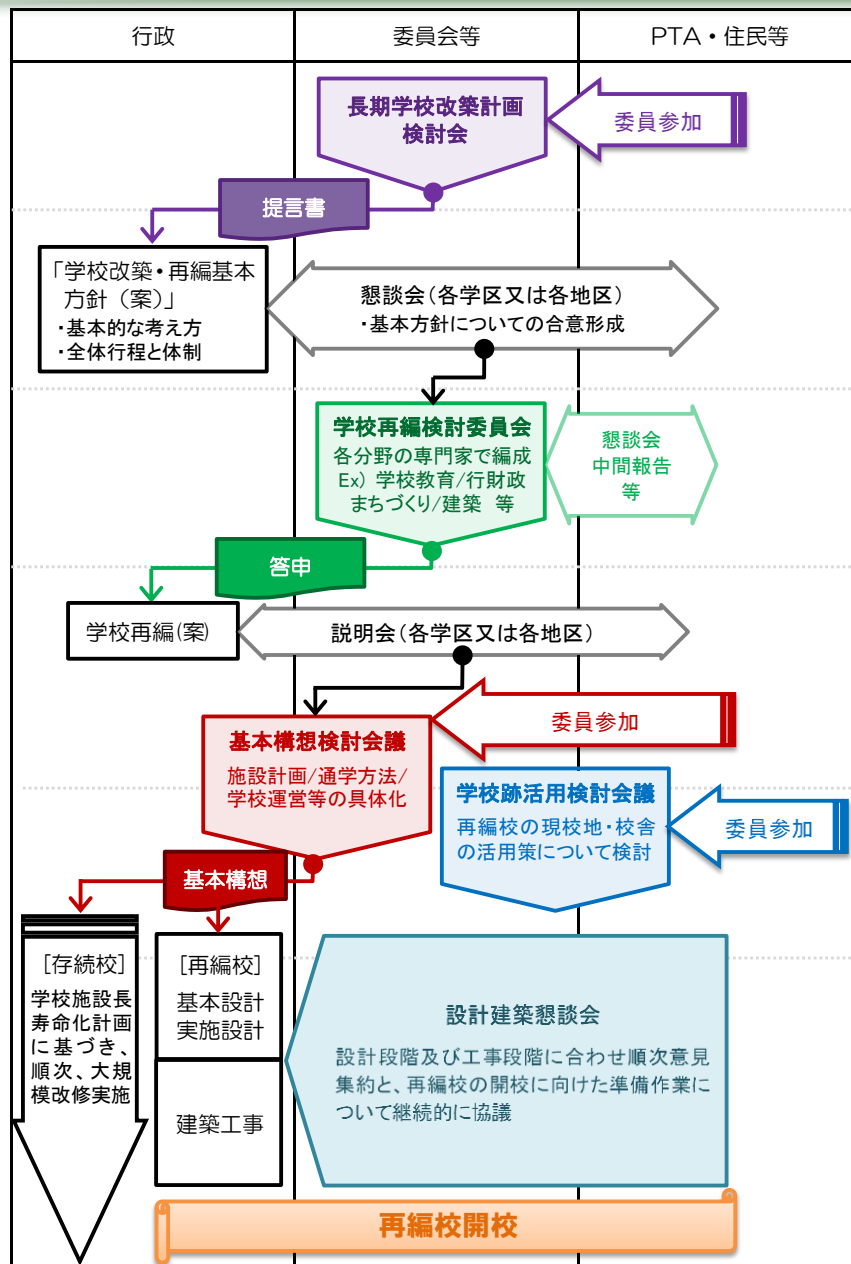


今後の進め方について



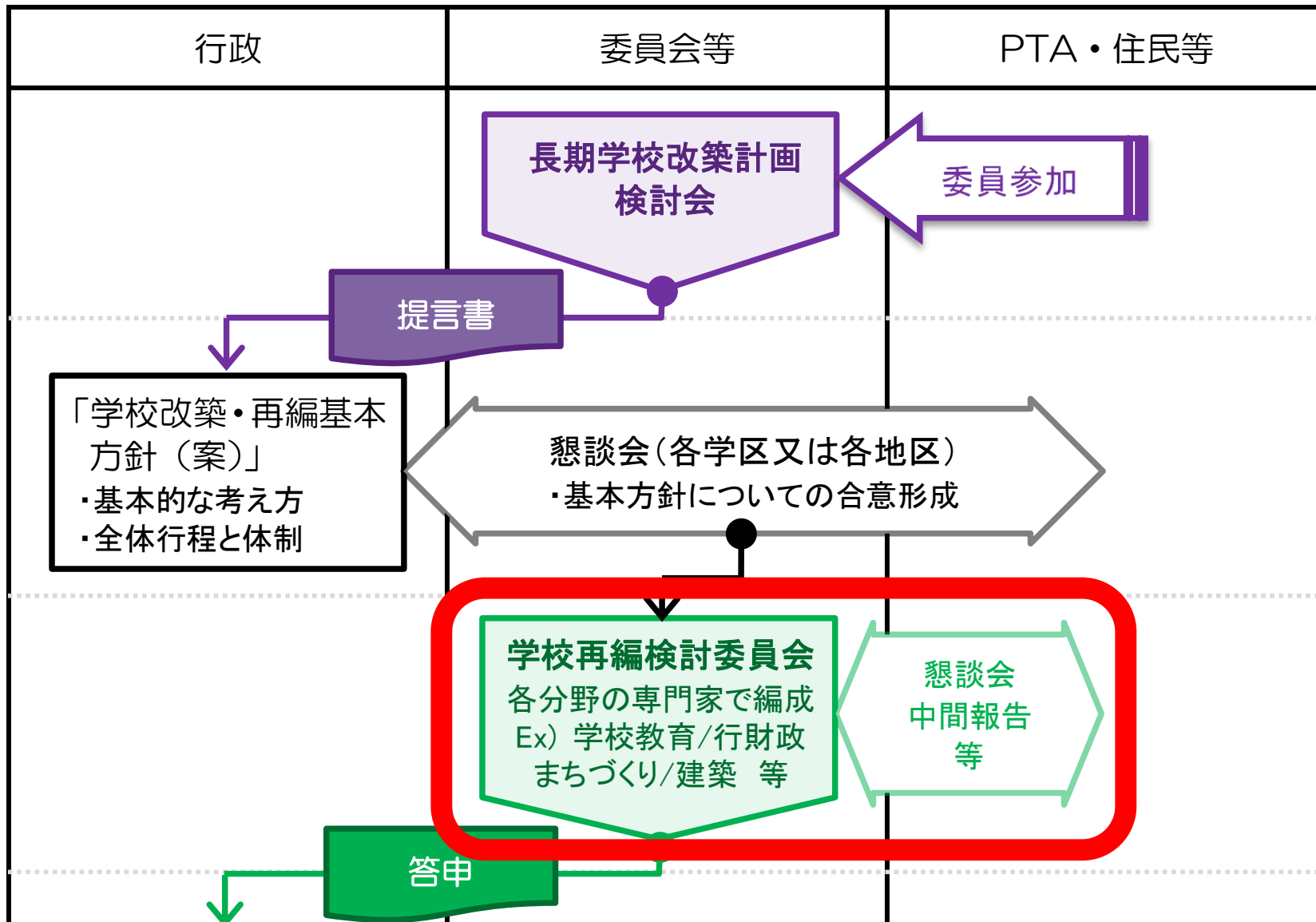
今後の取組みの進め方（素案）

— 提言書（20頁）より —





今後の取組みの進め方（素案）





『学校再編検討委員会（仮称）』の所掌事項



— 学校再編案の検討・答申 —

- 小中一貫教育制度のあり方について
- 再編について

答申以降の検討事項（組織・進め方等は改めて検討）

- 再編後の施設計画
- 再編後の詳細な通学方法
- 学校跡地の活用策 等



事務局からの説明に対し
皆さんのご意見を
お聞かせください。

本日はご参加いただき
ありがとうございました。
アンケートにご協力を
お願いいたします。
お気をつけてお帰りください。